

調布市民のみなさん

このニュースは、毎月11日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。今日は、新しい年を迎えてフクシマ原発事故（東日本大震災）から12年11か月となった2月11日（日）の「第134回行動」の報告と、3月11日（月）に予定する「第135回行動」のご案内をお届けします。
(編集者)

能登・フクシマはわがこと！ 70人で第134回「原発ゼロ」調布行動

今回の司会・進行も「調布合唱団・有志」のみなさん。司会は小山さんと鈴木勝雄さん、スピーチ調整などの進行と記録、加えて音響装置とハンドマイク準備も鈴木勝雄さん、むらき数子さんと鈴木彰がいつものように写真記録にとりくみました。いつも40分前に来てくれて音響などの荷物を運び、のぼり持ちも引き受けてくれる土建の片山さんに感謝です。

能登半島地震、志賀原発危機から1カ月余りだが、救援・復興の遅れが深刻で、フクシマのように長引くのだろうという憤りを覚えながらの行動になりました。調布市が強引に進めている駅前広場の工事によって、前回よりもさらに窮屈になった環境の中で、70人を超えるみなさんが集まりました。幸い天候には恵まれましたが、みなさん、ごくろうさま！



- ◆ 歌 「たんぼぼ」 調布合唱団が歌い、参加者も手拍子！
- ◆ 北村享一さん（入間町） 衆議院議長宛に建設労働者の雇用改善、担い手確保・育成に関する請願を行ないます。
- ◆ 菊池公子さん（深大寺） 麻生太郎副総裁は1月28日「こんなに美しい方とは言わんけれども、俺たちからみてもこのおばさんやるねとおもった」などと性差別の暴言発言をしました。自民党には、政治権力を握ってきた男性政治家の上から目線で、女性は能力が劣っているという意識がある。日本のジェンダー・ギャップ指数は146ヶ国中125位と立ち遅れていますが、自民党の根深い女性蔑視は厳しく問われなければなりません。こんな自民党の政権は終わらせましょう。
- ◆ 中野敬子さん（菊野台） 1月14日（日）朝4時集合 福島へ行ってきました。海洋放出後の漁連会長は「約束は破られたとは思っていないが守られていない」と言われたそうです。被害者は漁民・農民・酸農家・住民です。1月1日に能登半島地震が起きました、志賀原発は原子炉を冷却する外部電源が損傷し柏崎刈羽原発も使用済み核燃料プールから大量の冷却水があふれ出たと報じられました。稼働中だったらどうなっていたのか！考えるとぞっとします。「福島円卓会議の声を聞く会」4党、会派30人が集まり開催された。原発はいらないの声を広げていきましょう！



- ◆ 福島現地を視察した土建の青年たちの報告（6人が登場し4人のメンバーが報告）

◇川田さん（シニア友の会） 20名の参加で、福島いわき市勿来（なこそ）市民会館に行ってきました。東京電力福島原発の処理汚染水海洋放出、その後の話をきいてきた。他国では放射性物質の廃棄物を故意に海に放出した例はなく、薄めても総量は変わらない、セシウム、ストロンチウム、ヨウ素、炭素が含まれて安全性は確認されていないそうです。海洋放出汚染水のため風評被害を受け、採算が取れず困っていて、水揚げされた魚は厳しく検査される、パスされたものだけが流通されている。皆さん！協力しましょう！応援しましょう！物産品を求めましょう！

◇新井さん 原発事故3年、双葉・浪江の現地に行って肌で感じました。ヘドロのにおいがすごかった！みんなも現地に行きましょう！

◇中島さん 13年たったけれど、漁師たちはお金はもらったとしても、再建するには60代70代の年齢で、船を買うのに何億もかかるし、やめていく人もいる。

◇加瀬谷さん とにかく現地に行って自ら現状を見てくる。一緒に行きましょう。



◆ 杉崎哲夫さん（国領町） 「小島 力」詩集から詩を朗読します。・・・わが涙滂々 原発にふるさとを追われて もしも今何もしなければ ～ある母親の思いから～ 私 そんなに多くのものを望んではないのです。例えば・・・ささやかな日常のささやかな幸せすら押しつぶし 突き崩してしまう 原子力発電所 そしてこの世の中の仕組み もしも今私たちが言わなければ・・・

◆ 田村ゆう子さん（富士見町、共産党市議） 能登半島地震の街頭募金で10万円を集め被災者に届けました。福島のとれた魚は怖い！と子供が話していたそうです。能登半島地震で志賀原発が危険な状況であるのに国は一言も話さない！ 福島原発でも汚染物質が漏洩しているにも関わらず問題にしない政府は許されません。

◆ 歌 調布狛江合唱団 一人から一人へ 核兵器禁止条約、日本政府が国連で批准するようにと署名を呼び掛けた歌 長崎市役所の職員が作曲



◆ 佐橋正文（つつじヶ丘） 能登半島地震で北陸電力滋賀原発が被災、変圧器が崩れ、外部電力が失われた。大量に1万98000+2号機、360001号機そして配管に亀裂。モニタリングポスト18台が測定不能（全116台）断層の連動150Km（想定96Km）津波3m、地盤隆起最大4m、取水不可の危険、震度7の地震動最大2800ガル（原発の耐震性1000ガル）原子炉直下の地震動399ガル（変圧器は耐震性クラスC 500ガル）道路寸断、家屋倒壊で避難できない。だから原発はいらない、電気は大量に余っている。原発はいらない！

◆ 民舞 パワーズ 鳴子よっちょれ（高知地方）すずめ踊り（仙台地方） 踊りをみて立ち止まる親子など、和やかな雰囲気春を感じながら、快晴の青空で舞う



◆ 小野和子さん（染地） こんな危険な原発は絶対にいらない。今の政府を倒さなければならぬ。3月下旬に決起集会があるので皆さん来てください！

◆ 鈴木彰さん（多摩川） 来月の11日は、福島原発事故から13年目を迎える。能登半島の震災の被災者は1カ月を経てたいへんな苦しみにあわされているが、福島で13年経っても家に帰れない状態が続いていることを思うと、能登も福島も悲惨だ。こういう時に助けてくれるはずの政府・行政が、これにソップを向いて、防衛費増や自衛隊増強、金権腐敗の裏金づくりに明け暮れているのは酷いことだ。首相が能登の現場に入ったのは2集かっも立ってからだだし、自衛隊も「安保3文書」以前の大地震と比べれば救援にもものすごく出遅れた。フクシマ13年の次回は、工事が強行されている駅前広場はもっと使いにくくなっているかも知れないが、ひるまず、したたかに、元気の行動しよう。

◆ 歌 みんなで「青い空は」を歌う。調布狛江合唱団から訴え。「創立60周年記念演奏会を3月30日（土）14時から調布市グリーンホール大ホールで行います！ 皆さん！来てくれるかな！」



第135回「原発ゼロ」調布行動

日時：2024年3月11日(月)

10時半～11時半 於：調布駅前

今回は3月11日(月)。福島原発事故から13年(156か月)目、「調布行動」としては第135回目の行動です。企画・進行・司会は、学習サークル「アネモネ会」のみなさんが引き受けてくれることになっています。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言ってやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとこと」を！と願っています。準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

コロナ・インフルエンザ・ノロなどなど、危険なウイルスへの対策も油断はできません。(体調を崩された方は勇気をもって「自宅待機」を)。小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

なお、3月以降の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそはというグループはどうぞ名乗り出て、輪番に加わってください。

135～136回(3～4月)

137～138回(5～6月)

139～140回(7～8月)

141～142回(9～10月)

143～144回(11～12月)

アネモネ会

年金者組合

新婦人

@ちょうふ

調布合唱団有志